

株主・投資家の皆様へ

E-G 通信

第14期

2010年10月1日～2011年9月30日

掲示板監視・投稿監視・ユーザーサポートの

イー・ガーディアン株式会社

0050

Build Happy Internet Life



投稿監視から、トータルなインターネットライフの楽しさの提供へ。 ソーシャルメディアに注力し、新たな成長戦略を策定しました。



代表取締役社長
高谷 康久

経営理念

Build Happy Internet Life

すべてのインターネット利用者に、安心・安全をベースに「楽しい」を提供します



Q1 2011年9月期(当期)の決算について、
どう評価されますか。

A1 対前年で増収減益も
次の成長への基盤が形成できました。

売上高については、2010年9月期(前期)を大幅に上回ってはいるものの、当初掲げた20億33百万円という予想を下回って、19億7百万円という結果に終わりました。その理由としては、過去のトレンドをベースとして見込んでいた一部大口顧客の売上が計画に届かなかったこと、さらに、東日本大震災の影響もあり、新規案件獲得が計画に届かなかったことです。売上高が予想よりも下回ったことで、予想売上高に基づいた人員の先行配置や宮崎センターの開設・既存センターの増床などの設備投資費用を吸収しきれず、利益が大きく圧迫されました。しかしながら、ソーシャルWEBサービス向けプラットフォームである「E-Trident」というシステム開発に着手し、基本機能について稼働させることができました。この「E-Trident」は、今後の当社の大きな競争優位となり、宮崎センターの開設も当期の利益圧迫要因となりましたが、事業拡大のためには必要不可欠であり、次の成長の基礎を築くことができたと確信しています。

Q2 2012年9月期の業績見通しは
どうお考えですか。

A2 新しい経営理念に基づき、
下期から開発投資の効果が表れてきます。

2012年9月期の売上高予想は19億20百万円です。これについては慎重すぎるという見方もあるかもしれませんが、「Facebook」や「Twitter」など新しいソーシャルメディアが全世界で急速に普及しており、当社を取り巻く環境は変化しています。このような環境を踏まえ、2011年10月に当社は経営理念を「We guard all」から「Build

Happy Internet Life」に変更しました。これは「インターネットの警備会社」という従来の理念を発展させ、警備をベースとしてその上に楽しいインターネットライフを築く、いわば「インターネットのアミューズメントパーク」の提供が私たちの使命だということを意味しています。具体的には、既存の投稿監視業務に加え、SNSなどで提供されているソーシャルゲームや「Facebook」や「Twitter」などのソーシャルメディアを対象とした新たなサービス提供に注力するという成長戦略を描き直しました。この成長戦略を実現するために組織再編を実施し、新規顧客を開拓する部門と、既存顧客とのリレーションを深め業務領域の拡大を狙う部門に分けるなど、各部門の役割を明確にしました。また、当期から開発している「E-Trident」が完成し、2012年9月期後半より投資効果が徐々に表れ、2013年9月期以降の成長につながっていくと考えています。

Q3 特に注力される
ソーシャルメディア分野は何でしょうか。

A3 大手広告代理店との提携により先行し、
システムの信頼性も競争優位の源泉です。

ソーシャルメディアは利用者がますます拡大し、これを活用する企業も急速に増えています。しかし、旧来の投稿監視業務を担っている競合企業は、この分野にはなかなか進出してきていないという現状があります。それは当社がこの分野で先行しているためであると同時に、「E-Trident」という非常に信頼性の高いシステムを有しているからに他なりません。当社の先行性としては、まず大手広告代理店と提携している点が挙げられます。提携先の手大広告代理店は、日本を代表する大手企業のメディア戦略をトータルに受注するケースが多いわけですが、その中でのソーシャルメディアに関連する業務を当社が受託す



Q4 貴社の競争優位についてお聞かせください。

A4 新たに「E-Trident」と、
宮崎センターの開設が加わりました。

当社の強みはこれまで「提案力」「運用力」「開発力」と言ってきましたが、「E-Trident」というシステムも加わりました。このシステムは、当社が独自に開発したもので、顧客企業のネット環境を「E-Trident」に取り込み、「E-Trident」の統一したフォーマットで監視や運用が可能となるため、ミスを防ぎ、分析やレポート機能などの付加価値が提供できます。これが業界のデファクトスタンダードとなると確信していますが、それを武器に海外展開も可能になると考えています。また、既存センターも増床していますが、宮崎センターも開設し、都心の立地的優位性を確保しつつリスク分散を実現することが可能になりました。いずれも優秀な人材確保に成功しています。

Q5 株主還元についてお話しください。

A5 記念配当を実施。長期的には企業価値を
高めることで還元してまいります。

今回は上場記念ということもあり、お約束通り1株当たり5円の記念配当を行います。ただ基本的には当面の間、利益の内部留保により成長のための投資を行い、企業価値を高めることで株主の皆様へ還元してまいりたいと考えています。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援をよろしくお願いたします。



1. 流動資産

新規上場に伴う新株発行による現金及び預金の増加、売掛金の増加等により、前事業年度末と比較して327,766千円増加し、973,126千円となりました。

2. 固定資産

前事業年度に開発を開始した監視フィルタリングシステム用ソフトウェアの増加、六本木センター開設に伴う有形固定資産の増加、宮崎センター開設および既存センターの増床に伴う差入保証金の増加により、前事業年度末と比較して150,003千円増加し、241,609千円となりました。

■ 貸借対照表(要旨)

(単位：千円)

	当事業年度 2011年9月30日現在	前事業年度 2010年9月30日現在
資産の部		
1▶ 流動資産	973,126	645,360
2▶ 固定資産	241,609	91,606
有形固定資産	59,493	30,194
無形固定資産	118,549	17,569
投資その他の資産	63,566	43,842
資産合計	1,214,736	736,966
負債の部		
流動負債	285,749	268,541
固定負債	3,041	832
負債合計	288,791	269,373
純資産の部		
株主資本	925,945	467,592
資本金	337,326	152,210
資本剰余金	294,576	109,460
利益剰余金	294,043	205,922
純資産合計	925,945	467,592
負債純資産合計	1,214,736	736,966

(注)記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

■ 損益計算書(要旨)

(単位：千円)

	当事業年度 自2010年10月1日 至2011年9月30日	前事業年度 自2009年10月1日 至2010年9月30日
売上高	1,907,787	1,340,629
売上総利益	576,039	503,692
販売費及び一般管理費	399,100	299,655
営業利益	176,938	204,037
営業外収益	1,162	10,997
営業外費用	16,623	2,274
経常利益	161,477	212,760
特別損失	2,451	3,636
税引前当期純利益	159,025	209,124
法人税等	70,905	90,086
当期純利益	88,120	119,037

■ キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：千円)

	当事業年度 自2010年10月1日 至2011年9月30日	前事業年度 自2009年10月1日 至2010年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	57,019	202,351
投資活動によるキャッシュ・フロー	△159,677	△26,288
財務活動によるキャッシュ・フロー	370,232	64,920
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	267,574	240,982
現金及び現金同等物の期首残高	443,197	202,214
現金及び現金同等物の期末残高	710,771	443,197

3. 売上高

投稿監視業務における広告審査業務の本格稼働やソーシャルゲーム向けサービスの伸長により、売上高は1,907,787千円となりました。

財務活動による
4. キャッシュ・フロー

新規上場、第三者割当増資およびストック・オプションの行使による新株発行により、財務活動によるキャッシュ・フローは、370,232千円の収入となりました。

■ 売上高 (単位：百万円)



■ 営業利益 (単位：百万円)



■ 当期純利益 (単位：百万円)



■ 1株当たり当期純利益 (単位：円)



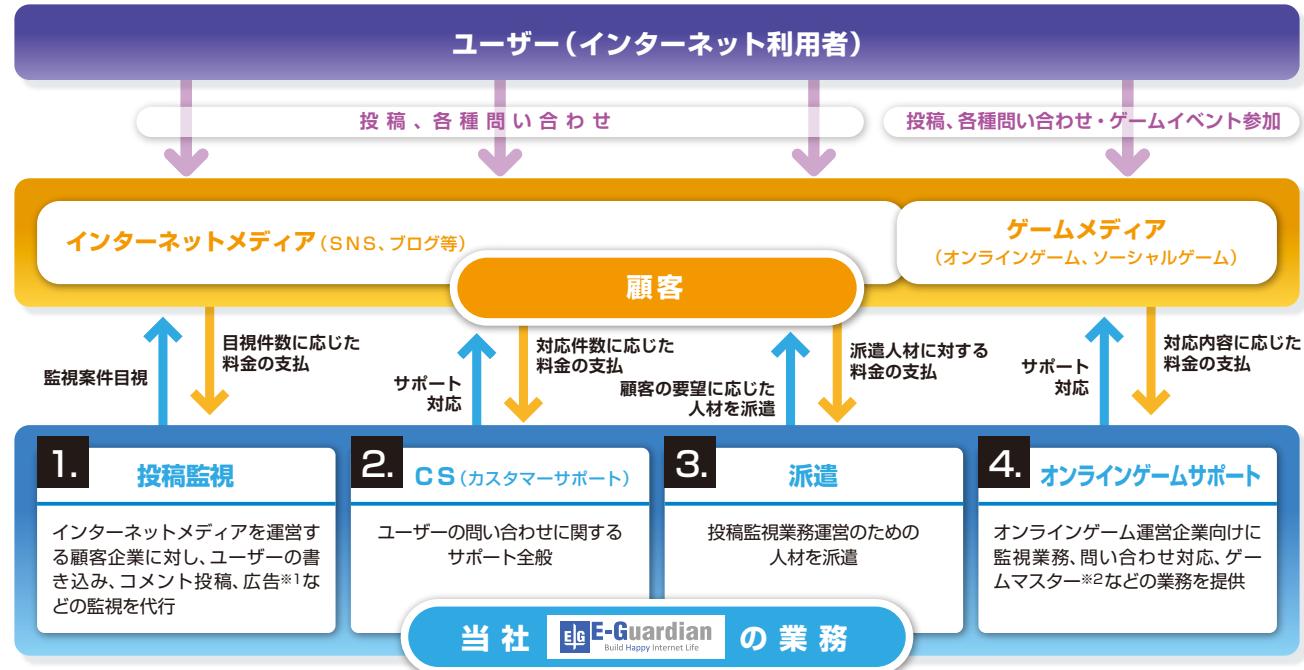
■ 1株当たり純資産 (単位：円)



■ 自己資本 (単位：百万円) ● 自己資本比率 (単位：%)



当社では、掲示板投稿監視事業を4つの業務に区分しています。



*1 インターネット上の広告に対して、薬事法や景品表示法などの関連法に違反していないか、またリンク先が適正かなどを審査すること
 *2 オンラインゲーム上においてユーザーのパトロールや誘導を行うサポートスタッフ

コラム Column 「ソーシャルメディア」って何？

インターネットを通して個人が発信する情報を、不特定多数のユーザーが閲覧し、それに対してレスポンスをすることができるメディアのことです。
 ユーザー同士のつながりを促進するさまざまな仕掛けや工夫が施され、互いの関係を視覚的に把握できるのが特徴で、「Facebook」や「Twitter」は全世界で普及が進む2大ソーシャルメディアです。
 ちなみに、日本での「Facebook」を利用している人口比率は、諸外国に比べ低いため、ソーシャルメディアの市場は、今後さらなる拡大が見込まれます。
 当社はこれまでの投稿監視ノウハウを活用し、このソーシャルメディアをビジネスチャンスと捉え、従来のIT企業からあらゆる企業へ、ターゲット顧客を拡大していきます。

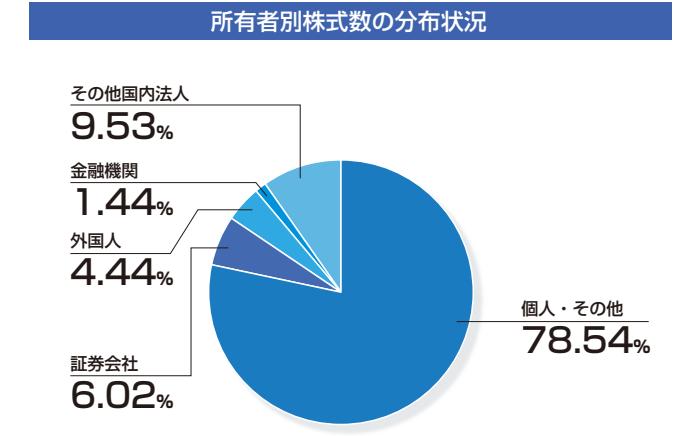


(2011年9月30日現在)

会社概要	
商号	イー・ガーディアン株式会社 E-Guardian Inc.
代表者名	代表取締役社長 高谷 康久
設立	1998(平成10)年5月
資本金	33,732万円
従業員数	456名(うち契約社員数376名)
本社	〒106-0045 東京都港区麻布十番1-2-3 プラスアストルビル 4F TEL : 03-5575-2561 FAX : 03-5575-0621
センター所在地	<ul style="list-style-type: none"> ■ 東京センター 〒106-0045 東京都港区麻布十番1-2-3 プラスアストルビル 6F TEL : 03-5575-2562 FAX : 03-6675-3030 ■ 六本木センター 〒106-0032 東京都港区六本木4-8-7 六本木三河台ビル 6F TEL : 03-6846-4352 FAX : 03-6846-5216 ■ 立川センター 〒190-0012 東京都立川市曙町2-10-1 ふどうやビル 10F TEL : 042-847-3300 FAX : 042-847-3301 ■ 大阪センター 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル 20F TEL : 06-6346-6080 FAX : 06-6346-6180 ■ 宮崎センター 〒880-0805 宮崎県宮崎市橋通東4-1-2 宮崎野村證券ビル 7F TEL : 0985-42-7900 FAX : 0985-42-7901
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ ブログ・SNS・掲示板企画コンサルティング ■ リアルタイム投稿監視業務 ■ ユーザーサポート業務 ■ オンラインゲームカスタマーサポート業務 ■ コンプライアンス対策・風評・トレンド調査業務 ■ コミュニティサイト企画・サイト運営代行業務・広告審査代行サービス業務 ■ 人材派遣業務

(2011年9月30日現在)

株式の状況		
発行可能株式総数	5,400,000株	
発行済株式の総数	1,681,600株	
株主数	2,545名	
大株主(上位10名)		
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
高谷康久	151,500	9.00
夏目三法	114,000	6.77
夏目理江	73,000	4.34
グリー株式会社	70,000	4.16
ドイチェバンクアーゲー ロンドン ビービー ノトリティー クライアーツ 613 (常任代理人 ドイツ証券株式会社)	56,000	3.33
東森日出夫	52,000	3.09
株式会社シーイー・モバイル	34,500	2.05
永徳克己	30,000	1.78
松井証券株式会社	25,200	1.49
株式会社SBI証券	19,300	1.14



ホームページのご紹介

ホームページでもさまざまな情報をご覧ください。

トップページ

<http://www.e-guardian.co.jp/>



株主・投資家情報

<http://www.e-guardian.co.jp/ir/index.html>



株主メモ

事業年度 毎年10月1日から翌年9月30日まで

定時株主総会 毎年12月に開催

公告方法 電子公告とする。
やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、
日本経済新聞に掲載して行う。

電子公告掲載URL
<http://www.pronexus.co.jp/koukoku/6050/6050.html>

株主名簿管理人 〒105-0014 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社

同事務取扱所 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
TEL: 0120-78-2031 (フリーダイヤル)



イー・ガーディアン株式会社
<http://www.e-guardian.co.jp/>

〒106-0045
東京都港区麻布十番1-2-3
プラスアストルビル 4F
TEL: 03-5575-2561
FAX: 03-5575-0621

